

水防災意識社会 再構築ビジョン

第3回由良川大規模内水対策部会を開催

～内水による被害軽減に向けた取組状況の共有と今後の継続的な取組を確認～

平成29年台風21号、平成30年7月豪雨等における内水による浸水被害を踏まえ、浸水対策の進捗状況を確認するため、第3回由良川大規模内水対策部会を開催しました。

国、府、市等が連携して進めている、由良川流域における内水による浸水被害軽減対策について、取組の進捗状況を共有するとともに、各機関の対策をとりまとめた「内水による浸水対策実行計画（案）」を共有し、今後の継続的な取組を確認しました。

- 日 時：令和元年5月31日（金）14：00～15：00
- 場 所：福知山市消防防災センター 2階 研修室
- 部会委員：福知山市長、舞鶴市長、綾部市長、宮津市長、京都府建設交通部長、気象庁京都地方気象台長、福知山河川国道事務所長



【第3回 由良川大規模内水対策部会の様子】

<出水時の避難行動のための情報発信>

ダムの情報提供の充実

現在の危険度レベルとダム操作レベル、ダムへの流入量、ダムからの放流量、貯水率、洪水警報発令水位、洪水警報解除水位、野水害の状況、情報提供の充実イメージ

洪水警報の危険度分布の表示改善

改善イメージ

<避難行動・被害軽減のための検討等>

ハザードマップ作成やタイムライン等の作成支援

避難勧告等発令基準水位の見直し

避難行動タイムライン（綾部市）

河川名	判断基準	避難準備 高齢者等避難開始	避難勧告	避難指示（緊急）
由良川	■福知山（国）観測所	5.0m	5.9m	—
	■由良（国）観測所	1.5m	1.7m	1.9m

委員からの主な発言内容

◆取組の進捗状況

<避難行動・被害軽減のための検討等>

- ・ハザードマップ作成や避難行動タイムライン等の作成支援（福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市）
- ・近年の豪雨や潮位を考慮した避難勧告等発令基準水位の見直し（宮津市）
- ・内水による浸水メカニズムの分析解析を踏まえた対策検討（福知山市、舞鶴市）
- ・排水ポンプ車の追加配備や適切な運用・配置位置検討（福知山市・舞鶴市・綾部市・京都府・国交省）
- ・雨水排水ポンプ場の整備（福知山市・綾部市）

<出水時の避難行動のための情報発信>

- ・住民意識の向上につなげるための、浸水状況の整理、避難判断水位の設定（福知山市・舞鶴市）
- ・大野ダムの操作及び放流情報提供のあり方について学識者を交えて検討し、ダムの情報提供の充実を予定（京都府）
- ・「洪水警報の危険度分布」の利活用方法の周知と表示方法の改善検討（気象台）

<河川管理施設の充実等>

- ・密な水位情報把握のため危機管理型水位計の設置（福知山市、京都府、国交省）
- ・本川水位低下のための河道内樹木の伐採や河道掘削の実施（国交省）
- ・樋門操作が長時間に及ぶ場合の操作環境改善（舞鶴市、国交省）

内水による浸水メカニズムの分析解析を踏まえた対策検討

○由良川流域では、平成29年台風21号、平成30年7月豪雨と2年連続で内水被害が発生。
○平成30年9月、国、府、市が「由良川大規模内水対策部会」を発足し、内水対応策を検討。
○国、府の技術面・財政面の支援により、排水ポンプの設置など、国、府、市が連携したハード・ソフト対策を加速。

施設配置最適化計画（案）

役割分担

役割分担	主な浸水被害軽減の連携メニュー（案）「短期対策」*1	対策効果
国交省	・由良川本川河道掘削、樹木伐採 ・流域内水対策への財政支援	・平成29年台風21号出水情報の床上浸水が解消 ・平成29年台風21号浸水被害戸数 床上戸数 17戸 床上下戸数 18戸 *排水ポンプ車活用で、さらに効果向上
京都府	・新藤川園岸堤上げ・ヒート ・排水ポンプ稼働への機動力等	
福知山市	・公手川改修・堤岸掘削・開通止水対策 ・調節池（約5千m ³ ）、排水ポンプ（約2万m ³ /s） ・マップ、タイムラインでの連携等	

*1 短期対策として平成29年台風21号相当規模の雨を対象に、床上浸水解消を目標とする。

連携によるハード対策案（福知山市）

排水ポンプ車の配備・運用検討



<河川管理施設の充実等>

（危険管理型水位計の設置）

京都府（由良川水系22箇所、うち内水被害区域6箇所）



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所 調査課
〒620-0875 福知山市字堀小字今岡2459-14 TEL 0773-22-5104（代表）

